お知らせ

第３１回岩沢まつりを８月15日(木)に開催。詳しくは後日配布されるチラシご覧をご覧ください

岩沢通信

第６８号
2018年(平成30年)5月25日創刊
発 行　岩沢アチコタネーゼ
岩沢地域振興協議会・岩沢分館
編集　石曽根 徹(地域づくり支援員)

学生インターン派遣地決定会参加

この夏、大学生が岩沢にやってくる

岩沢アチコタネーゼではこの夏に学生インターンの受入を再開させる。これに先だって、インターン生とのマッチングをするべく東京八王子の大学セミナーハウスへ関口貞幸代表と駒井和彦副代表そして小千谷市から２名の職員が同行した。

初日の６月15日は、会のプレゼンが行われその後全ての学生と個々に面談。面談には、アチコタネーゼ東京の鳥山仁さんも途中から参加し、会の思いを熱く語ってくれ、夜は懇親会でさらに距離を縮めた。翌16日はいよいよインターン生の希望地発表と受入団体との調整が行われ、この夏岩沢には３名の学生が派遣されることが決まった。（参加者の詳細は別紙にて）

関口代表は「以前に比べて学生の申し込みが少なくて心配したが何とか決まって安心した」と話す。

和やかな中にも熱気に満ちた対話

市長と車座トークに会場満杯

宮崎市長新体制になってからの初めての地区別懇談会が今年度から始まり、７月１日岩沢住民センターに約70名の参加者が集まった。

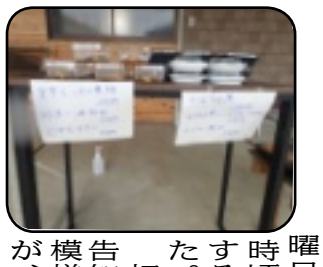
最初に市長より今年度の事業や予算について説明があった後、町民との座談会がスタート。参加者からは「先日消滅可能都市として小千谷市の名前が上がったが、中山間地はますます厳しい状況になるのではないか。市長の考えを聞きたい」などの鋭い意見が出され、宮崎市長は「何もしなければこのまま先細りになる。私は皆さんと一緒にこれに抗ってもがいていきたい」と答えた。その他にも、原発や各地で出没する熊の問題など多岐に渡り意見や質問が出された。当日は若者や女性の姿も多く見られ、他の会場とは違った雰囲気になったようだ。

買物に対する新たな取り組み

パンと惣菜出張販売

地域内で商店が減少する中、岩沢福祉会は新たな次の一手を始めた。東栄町で就労継続支援事業に取り組むワークショップ想（そう）が、パンの出張販売を行いたいとの打診があり、岩沢福祉会がこれを受けて諏訪部鐵工所事務所前の駐車場を提供したものである。

今月10日からスタートし、お盆と年末年始、祝日を除いて毎週水曜日の午後３時頃から販売することとした。



初日はまだ告知不足と雨模様であったが、約10人の来客があり、一人で10個以上買い求める人もいた。また、下片貝からの惣菜の販売も同時に行われ、コロッケやメンチカツは完売する人気だった。

担当する想のスタッフは「このような場を提供していただき大変ありがたい。今後も続けて就労支援の機会を増やしたい」と話す。

減塩でも美味しいね

宮崎市長、園児と給食

子どもたちやその親世代の「望ましい食習慣を理解し、実践する」を目的に市内の給食で各種取り組みが行われているが、６月17日に岩沢保育園で宮崎市長が園児との減塩メニューの試食を行った。

この日は園児17人が参加。最初は見知らぬ大人が大勢いたせいか緊張していた園児も次第に慣れてきて、いつもの賑やかな給食となった。園児の一人が「何のお仕事をしているの」と市長に尋ねると「みんなが楽しくすごせる様に仕事しています」と答えていた。

メニューは白身魚のハーブチーズ焼きが提供され、宮崎市長も「減塩しているとは感じないような、美味しい味だった」と感想を述べていた。

公共事業現地踏査で振興会・町内会が要望

今年度の要望の行方は？

７月１日市道関係、11日は県道・河川を対象とした公共事業要望の現地確認作業が各町内ごとに行われ、振興会長や各町内会長、駒井市議と行政担当者が要望書の出されている箇所を一つ一つ見て回った。

要望には毎年継続で出されている箇所も多いが、少しずつ事業は進んでおり、実際に岩沢環状線の側溝の改修は毎年何らかの工事がなされている。しかしながら河川や国道関係となると大規模な工事になることから、直ぐに着工となるには難しい。

振興会長や町内会長は「市や県の言い分も理解出来るが、これからも粘り強く要望を続けていきたい」と話す。

お世話係が研修会

岩沢、真人、吉谷地区で活動するデイホームのお世話係の合同研修会とサクランボ狩りが６月18日に行われた。この日は総勢21名が参加、聖篭町にある農園ハウスでサクランボ狩りを楽しんだ後、新潟市内で昼食をとり、最後は新潟ふるさと村で買物を楽しんだ。

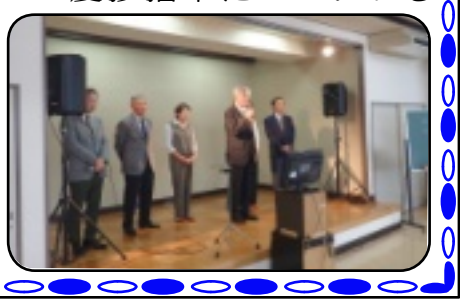
途中のバス移動では、お互いのデイホームの運営について情報交換を行い、和気あいあいとしたムードで研修を終えた。

デイホームいわさわ納涼祭

７月10日住民センターを会場にデイホームいわさわ納涼祭が開催された。

冒頭小泉竹夫会長は「先日、市長との懇談会に参加したが、印象的だったのは、人口減少問題についてだった。しかも南部地区はそれが著しく表れていると聞きショックだった」と挨拶。来賓には岩沢の中村駐在が招かれ、挨拶では「何度もしつこく言いますが、とにかく特殊詐欺には気を付けてください。お金の話が出たら直ぐに電話を切って構わない」と注意喚起を訴えた。

アトラクションでは、川口を中心に活動するカラオケの会が熱唱し大きな拍手を受けていた。最後は市ノ口の佐藤澄子さんの唄で、十日町小唄に合わせて参加者が手踊りをするなど楽しいひと時を過ごした。



守れ地域の宝

振興会と守る会が汗

６月25日毎年恒例の岩沢地域振興協議会と岩沢ブナ林を守る会で行われている函山城址、林道草刈とブナ林の整備が行われた。

朝７時30分、草刈りやチェーンソーを携えたメンバーはそれぞれの場所に集合。ブナ林入り口では振興会の大渕敏明副会長が「今日は参加ご苦労様です。暑いですが、水分を取りながら、怪我の無いように作業をお願いします」と挨拶。その後それぞれの場所へ向かい作業開始。ブナ林では、小千谷市の農林課の資材購入支援で購入した除草剤やたい肥を使い整備を行った。

編集後記

今月の記事にもあるように、地域内でパンの出張販売が始まりました。初日の10日はあいにくの雨だったのですが、それでもポスターを見てくれた大勢の方が買物に来てくれました。また、諏訪部鐵工所事務所のカーポートも雨除けには最適でした。

私も最初からパンは購入する予定でしたので会場に行と、なんと惣菜まで売っているではありませんか。パンはもちろんのこと、総菜コーナーでは美味しそうなメンチカツとハムカツを購入。そして、私は苦手なのですが妻のご機嫌取りにゴマ豆腐も購入。就労支援を受けている障がい者が作ったであろう、新聞紙で作られたエコバックも素敵でした。もちろん全て美味しくいただきました。・・・（Ｉ）